

平成 25 年 度

シラバス

5 年 次
(テーマ別講義 1)



日本大学松戸歯学部

平成25年度 テーマ別講義1シラバス

一般目標 (GIO)

臨床実習を効果的に行うために、臨床科目に関する基礎学力向上と診療参加型臨床実習に対する解決能力を養い、併せて各診療科における診療の流れと使用する器材・薬剤に関する基礎的知識を修得する。

到達目標 (SBOs)

- ① 各診療科における診療の流れと使用する器材・薬剤について説明できる。
- ② 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能について説明できる。
- ③ 歯科疾患に関する病因、病態および主要症候について説明できる。
- ④ 歯科疾患の確定診断に必要な診察、検査について説明できる。
- ⑤ 歯科疾患の治療法について説明できる。
- ⑥ 主訴・症状・徴候から正しい処置方針を立案できる。
- ⑦ 歯科医師国家試験臨床実地問題を分析し、解説できる。

講義および試験実施要項

I. 講義実施要項

期 間：平成24年4月1日～9月30日

時 間：午前8時40分～9時30分（試験時間は日程表に記載する）

会 場：401教室

講 義：以下のテーマより7つのユニットから構成される。

ユニット1：診断情報収集と診療の流れ	オーガナイザー：小林 平
ユニット2：成長・発育	オーガナイザー：清水 武彦
ユニット3：加齢と歯の欠損	オーガナイザー：大久保 昌和
ユニット4：齲蝕と硬組織欠損	オーガナイザー：平山 聡司
ユニット5：炎症	オーガナイザー：宇都宮 忠彦
ユニット6：嚢胞・腫瘍	オーガナイザー：西村 均
ユニット7：保健医療総論と健康管理	オーガナイザー：有川 量崇
ユニット8：臨床実地への対応	オーガナイザー：小見山 道

講義内容：

ユニット1：臨床実習開始に当たり患者情報の収集と各種検査法、各診療科における診療の流れおよび使用する器材・薬剤について講義する。

ユニット2～6：各ユニットはテーマに基づいて①正常構造と機能→②病因、病態→③診察、検査法→④治療法を学び、さらに臨床における主訴・症状・徴候から適切な診断と処置方針の立案についてについて講義を行う。

ユニット7：国家試験出題基準における歯科医学総論、(I) 保健医療総論と (II) 健康管理・増進と予防についての講義を行う。

ユニット8：第106回歯科医師国家試験臨実問題の分析と解説講義を学生主体で行う。

II. 平常試験実施要項

- ① 各ユニット終了後に平常試験①～⑦を実施する。更に全ユニット終了後に平常試験⑧を実施する。
- ② 試験時間は、平常試験①～⑦は8：40～9：40（60分）、平常試験⑧は8：40～10：20（100分）とする。401教室で行う。
- ③ 試験問題は、以下のようにする。
 - ・平常試験①～④および⑥、⑦は筆記試験とする。ただし、保健医療総論と健康管理に関するMCQ問題10問を含む。
 - ・平常試験⑤は、第106回歯科医師国家試験臨実問題の改変問題（MCQ形式、25問）とする。
 - ・平常試験⑧は、ユニット2～8の講義内容に関して、歯科医師国家試験過去問題の改変問題（MCQ形式、計80問）と第106回歯科医師国家試験臨実問題の改変問題（MCQ形式、20問）の合計100問とする。
 - ・平常試験⑨は、基礎系科目学力の維持・向上を目的に実施する。問題はMCQ形式とし、合計280問を3日間に分けて実施する。

III. 合格基準

平常試験の評価割合を以下のようにする。

平常試験①：診断情報収集と診療の流れ	5%
平常試験②：成長・発育	13%
平常試験③：加齢と歯の欠損	13%
平常試験④：齲蝕と硬組織欠損	13%
平常試験⑤：臨床実地への対応	5%
平常試験⑥：炎症	13%
平常試験⑦：嚢胞・腫瘍	13%
平常試験⑧：まとめ試験	15%
平常試験⑨：基礎系レベルアップ	10%

以上により、全正解率が65%以上の者をテーマ別講義1の合格者とする。

IV. 再評価試験について

- ① 上記合格基準に満たない者については、再評価試験を実施する。
- ② 再評価試験は、ユニット2～7の講義内容に関する筆記試験問題とする。
- ③ 再評価試験の正解率が65%以上の者をテーマ別講義1の合格者とする。

V. 再評価試験不合格者は学習支援対象者とし、10月以降にユニット2～6のオーガナイザー等による口頭試問を受け、その合格基準を満たさなければならない。

平成25年度 テーマ別講義1 日程表

出席確認 8:35~8:40、講義時間 8:40~9:30、会場 401教室						
月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義責任者
4月2日	火	テーマ別講義1 ガイダンス		平山 聡司		
4月3日	水	診断情報収集と診療の流れ1	患者配当と問題志向型診療録 (POMR) 記載の流れ	小林 平	歯科総合診療学	内田 貴之
4月4日	木	診断情報収集と診療の流れ2	臨床検査の基礎、検査結果の読み方		歯科臨床検査医学	横橋 治
4月5日	金	診断情報収集と診療の流れ3	口内法・パノラマエックス線検査の重要性と撮影の基本		放射線学	小椋 一朗
4月6日	土	診断情報収集と診療の流れ4	修復治療の流れと使用する器材・薬剤		保存修復学	池見 宅司 (森 俊幸)
4月7日	日					
4月8日	月	診断情報収集と診療の流れ5	根管治療の流れと使用する器材・薬剤	小林 平	歯内療法学	岡部 達
4月9日	火	診断情報収集と診療の流れ6	自家歯牙移植と意図的再植の流れと使用する器材		再生歯科治療学	牧村 英樹
4月10日	水	診断情報収集と診療の流れ7	歯周治療の流れ(検査・SPT・歯周外科)と使用する器具		歯周治療学	中山 洋平
4月11日	木	診断情報収集と診療の流れ8	有床義歯治療の流れと使用する器材		有床義歯補綴学	河相 安彦 (石井 智浩)
4月12日	金	診断情報収集と診療の流れ9	歯冠補綴治療の流れと使用する器材		クラウンブリッジ補綴学	小林 平
4月13日	土	診断情報収集と診療の流れ10	スポーツ歯科診療および睡眠時無呼吸症候群、顎関節症ならびに顎顔面領域の神経疾患に対する治療の流れと使用する器材		顎口腔機能治療学	小見山 道 浅野 隆
4月14日	日					
4月15日	月	診断情報収集と診療の流れ11	全身麻酔の導入から覚醒まで	小林 平	歯科麻酔学	石橋 肇
4月16日	火	診断情報収集と診療の流れ12	インプラントの診断からメンテナンス		口腔インプラント学	井下田 繁子
4月17日	水	診断情報収集と診療の流れ13	外来手術の流れと使用する器材・薬剤		顎顔面外科学	近藤 壽郎 (原 正浩)
4月18日	木	診断情報収集と診療の流れ14	セファロ分析に基づく矯正治療の流れと使用する器材		歯科矯正学	斎藤 勝彦
4月19日	金	診断情報収集と診療の流れ15	小児の扱い、小児歯科の特色と使用する特殊器具		小児歯科学	清水 邦彦
4月20日	土	診断情報収集と診療の流れ16	障害者をとりまく環境		障害者歯科学	伊藤 政之
4月21日	日					
4月22日	月	平常試験① (60分)		小林 平		
4月23日	火	成長・発育1	小児の歯・歯列の発育と特徴	清水 武彦	小児歯科学	清水 武彦
4月24日	水	成長・発育2	咬合誘導		小児歯科学	清水 邦彦
4月25日	木	成長・発育3	小児の心身発達		小児歯科学	清水 邦彦
4月26日	金					
4月27日	土					
4月28日	日					
4月29日	月					
4月30日	火	成長・発育4	小児の歯の外傷と抜歯	清水 武彦	小児歯科学	岡本 京
5月1日	水	成長・発育5	成長発育と評価		歯科矯正学	五関たけみ
5月2日	木	平常試験②-A (90分)		平山 聡司		
5月3日	金					
5月4日	土					
5月5日	日					
5月6日	月					
5月7日	火	成長・発育6	顎顔面頭蓋の成長発育	清水 武彦	歯科矯正学	五関たけみ
5月8日	水	成長・発育7	不正咬合の特徴(上顎前突)		歯科矯正学	五関たけみ
5月9日	木	成長・発育8	不正咬合の特徴(下顎前突)		歯科矯正学	五関たけみ
5月10日	金	臨床実地への対応1 (A班)	小児歯科臨床実地問題1	小見山 道	小児歯科学	清水 武彦
5月11日	土	臨床実地への対応2 (A班)	小児歯科臨床実地問題2		小児歯科学	清水 武彦
5月12日	日					
5月13日	月	保健医療総論と健康管理1	医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム・社会と歯科医療	有川 量崇	公衆予防歯科学	有川 量崇
5月14日	火	成長・発育9	障害者への対応	清水 武彦	障害者歯科学	野本 たかと (水野 貴誠)
5月15日	水	成長・発育10	摂食・嚥下機能の発達		障害者歯科学	林 佐智代
5月16日	木	臨床実地への対応3 (B班)	小児歯科臨床実地問題3	小見山 道	小児歯科学	清水 武彦
5月17日	金	臨床実地への対応4 (B班)	歯科矯正学臨床実地問題1		歯科矯正学	五関たけみ
5月18日	土	臨床実地への対応5 (C班)	歯科矯正学臨床実地問題2		歯科矯正学	五関たけみ

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義責任者
5月19日	日					
5月20日	月	平常試験② (60分)		清水 武彦		
5月21日	火	加齢と歯の欠損1	総義歯補綴学総論	大久保昌和	有床義歯補綴学	河相 安彦
5月22日	水	加齢と歯の欠損2	高齢者の歯科治療		有床義歯補綴学	河相 安彦 (平野 浩彦)
5月23日	木	加齢と歯の欠損3	局部床義歯学総論		有床義歯補綴学	飯島 守雄
5月24日	金	臨床実地への対応6 (C班)	歯科矯正学臨床実地問題3	小見山 道	歯科矯正学	五関たけみ
5月25日	土	臨床実地への対応7 (D班)	衛生臨床実地問題		公衆予防歯科学	有川 量崇
5月26日	日					
5月27日	月	保健医療総論と健康管理2	予防と健康管理増進 (健康増進と疾病予防・地域保健・母子保健・学校保健)	有川 量崇	公衆予防歯科学	那須 郁夫 (田口 千恵子)
5月28日	火	加齢と歯の欠損4	総義歯装着後の管理	大久保 昌和	有床義歯補綴学	木本 統
5月29日	水	加齢と歯の欠損5	口腔インプラント学総論		口腔インプラント学	村上 洋
5月30日	木	加齢と歯の欠損6	局部床義歯装着後の管理		有床義歯補綴学	大久保 昌和
5月31日	金	臨床実地への対応8 (D班)	全部床義歯臨床実地問題1	小見山 道	有床義歯補綴学 (全部床)	木本 統
6月1日	土	臨床実地への対応9 (E班)	全部床義歯臨床実地問題2		有床義歯補綴学 (全部床)	木本 統
6月2日	日					
6月3日	月	平常試験③-B (90分)		平山 聡司		
6月4日	火	加齢と歯の欠損7	摂食嚥下障害とリハビリテーション	大久保昌和	障害者歯科学	野本 たかと
6月5日	水	加齢と歯の欠損8	咀嚼の生理学・痛みの生理学と咀嚼系の機能障害		顎口腔機能治療学	小見山 道
6月6日	木	加齢と歯の欠損9	下顎運動と口腔機能検査		顎口腔機能治療学	小見山 道
6月7日	金	臨床実地への対応10 (E班)	局部床義歯臨床実地問題1	小見山 道	有床義歯補綴学 (局部床)	河相 安彦 (石井 智浩)
6月8日	土	臨床実地への対応11 (F班)	局部床義歯臨床実地問題2		有床義歯補綴学 (局部床)	河相 安彦 (石井 智浩)
6月9日	日					
6月10日	月	平常試験③ (60分)		大久保 昌和		
6月11日	火	齶蝕と硬組織欠損1	歯の正常機能と構造	平山 聡司	保存修復学	平山 聡司
6月12日	水	齶蝕と硬組織欠損2	唾液・常在微生物叢・バイオフィルム		保存修復学	鈴木 英明
6月13日	木	齶蝕と硬組織欠損3	歯の硬組織疾患の病因・病態と主要症候および検査		保存修復学	鈴木 英明
6月14日	金	臨床実地への対応12 (F班)	クラウンブリッジ1 臨床実地問題	小見山 道	クラウンブリッジ補綴学	田中 孝明
6月15日	土	臨床実地への対応13 (G班)	クラウンブリッジ2 インプラント 臨床実地問題 顎機能		クラウンブリッジ補綴学 口腔インプラント学 顎口腔機能治療学	田中 孝明 村上 洋 小見山 道
6月16日	日					
6月17日	月	保健医療総論と健康管理3	予防と健康管理増進 (フッ化物応用)	有川 量崇	公衆予防歯科学	那須 郁夫 (田口 千恵子)
6月18日	火	齶蝕と硬組織欠損4	歯の移植、再植	平山 聡司	再生歯科治療学	和田 守康
6月19日	水	齶蝕と硬組織欠損5	診療用器具と成形修復材料		保存修復学	岡田 珠美
6月20日	木	齶蝕と硬組織欠損6	診療用器具と補綴修復材料		クラウンブリッジ補綴学	小林 平
6月21日	金	臨床実地への対応14 (G班)	保存修復学臨床実地問題①	小見山 道	保存修復学	池見 宅司 (岩井 啓寿)
6月22日	土	臨床実地への対応15 (H班)	保存修復学臨床実地問題②		保存修復学	池見 宅司 (岩井 啓寿)
6月23日	日					
6月24日	月	保健医療総論と健康管理4	予防と健康管理増進 (保健指導・口腔清掃)	有川 量崇	公衆予防歯科学	那須 郁夫 (田口 千恵子)
6月25日	火	齶蝕と硬組織欠損7	歯科接着技術と接着材料	平山 聡司	クラウンブリッジ補綴学	會田 雅啓
6月26日	水	齶蝕と硬組織欠損8	歯がしみる、歯が減ってきた、食べ物が挟まる		保存修復学	神谷 直孝
6月27日	木	齶蝕と硬組織欠損9	歯の審美障害1		クラウンブリッジ補綴学	小林 平
6月28日	金	平常試験③-C (100分)		平山 聡司		
6月29日	土	臨床実地への対応16 (H班)	歯内療法学臨床実地問題	小見山 道	歯内療法学	川島 正
6月30日	日					
7月1日	月	保健医療総論と健康管理5	予防と健康管理増進 (口臭)	有川 量崇	公衆予防歯科学	那須 郁夫 (田口 千恵子)
7月2日	火	齶蝕と硬組織欠損10	歯の審美障害2	平山 聡司	保存修復学	神谷 直孝
7月3日	水	齶蝕と硬組織欠損11	歯冠補綴装置の脱離1		クラウンブリッジ補綴学	小林 平
7月4日	木	齶蝕と硬組織欠損12	歯冠補綴装置の脱離2		クラウンブリッジ補綴学	會田 雅啓 (後藤 治彦)

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義責任者
7月5日	金	臨床実地への対応17 (1班)	歯周治療学臨床実地問題1	小見山 道	歯周治療学	目澤 優
7月6日	土	臨床実地への対応18 (1班)	歯周治療学臨床実地問題2		歯周治療学	目澤 優
7月7日	日					
7月8日	月	平常試験④ (60分)		平山 聡司		
7月9日	火	臨床実地への対応19 (J班)	口腔外科学臨床実地問題1	小見山 道	口腔外科	西村 均
7月10日	水	臨床実地への対応20 (J班)	口腔外科学臨床実地問題2		口腔外科	西村 均
7月11日	木	臨床実地への対応21 (K班)	口腔外科学臨床実地問題3		口腔外科	伊藤 耕
7月12日	金	臨床実地への対応22 (K班)	口腔外科学・放射線学臨床実地問題4		口腔外科	伊藤 耕
7月13日	土	臨床実地への対応23 (L班)	臨床検査医学臨床実地問題		歯科臨床検査医学	市村 真奈
7月14日	日					
7月15日	月					
7月16日	火	炎症1	炎症の病理学、歯髓組織・歯肉組織・顎骨の正常構造	宇都宮 忠彦	口腔病理学	宇都宮 忠彦
7月17日	水	炎症2	歯髓炎・根尖性歯周炎の分類・診断		歯内療法学	辻本 恭久
7月18日	木	炎症3 歯周治療学	歯周疾患 (主に歯肉炎・歯周炎) の分類・診断		歯周治療学	小方 頼昌 (大橋 颯二郎)
7月19日	金	炎症4 口腔外科	骨髄炎の分類・診断		顎顔面外科学	近藤 壽郎 (原 正浩)
7月20日	土	臨床実地への対応24 (L班)	歯科麻酔学臨床実地問題	小見山 道	歯科麻酔学	下坂 典立
7月21日	日					
7月22日	月	平常試験⑤ (60分)		小見山 道		
7月23日	火					
7月24日	水					
7月25日	木					
7月26日	金					
7月27日	土					
7月28日	日					
7月29日	月					
7月30日	火					
7月31日	水					
8月1日	木					
8月2日	金					
8月3日	土					
8月4日	日					
8月4日	月					
8月6日	火					
8月7日	水					
8月8日	木					
8月9日	金					
8月10日	土					
8月11日	日					
8月12日	月					
8月13日	火					
8月14日	水					
8月15日	木					
8月16日	金					
8月17日	土					
8月18日	日					
8月19日	月	保健医療総論と健康管理6	保健・医療・福祉・介護関係法規	有川 量崇	公衆予防歯科学	有川 量崇
8月20日	火	炎症5 歯周治療学	歯周疾患 (主に歯肉炎・歯周炎) の分類・診断	宇都宮 忠彦	歯周治療学	小方 頼昌 (大橋 颯二郎)
8月21日	水	炎症6 歯内療法学	歯髓炎・根尖性歯周炎の治療の基礎		歯内療法学	辻本 恭久
8月22日	木	炎症7 口腔外科	骨髄炎の病期・症状と治療の基礎		顎顔面外科学	近藤 壽郎 (原 正浩)
8月23日	金	炎症8 口腔外科	骨折の症状と治療の基礎		顎顔面外科学	近藤 壽郎 (原 正浩)
8月24日	土					
8月25日	日					
8月26日	月	平常試験⑥ (60分)		宇都宮 忠彦		
8月27日	火	嚢胞・腫瘍1	嚢胞の分類	西村 均	口腔病理学	宇都宮 忠彦
8月28日	水	嚢胞・腫瘍2	顎骨の歯原性嚢胞		口腔外科学	西村 均
8月29日	木	嚢胞・腫瘍3	顎骨の非歯原性嚢胞		口腔外科学	西村 均
8月30日	金	嚢胞・腫瘍4	軟組織の嚢胞		口腔外科学	西村 均
8月31日	土					
9月1日	日					

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義責任者
9月2日	月	保健医療総論と健康管理7	社会保障制度	有川 量崇	公衆予防歯科学	有川 量崇
9月3日	火	嚢胞・腫瘍5	腫瘍の分類	西村 均	口腔病理学	久山 佳代
9月4日	水	嚢胞・腫瘍6	菌原性腫瘍の診断と治療		顎顔面外科学	伊藤 耕
9月5日	木	嚢胞・腫瘍7	非菌原性腫瘍の診断と治療		顎顔面外科学	伊藤 耕
9月6日	金	嚢胞・腫瘍8	唾液腺腫瘍の診断と治療	西村 均	口腔外科学	伊藤 耕
9月7日	土	保健医療総論と健康管理8	医療保険制度	有川 量崇	公衆予防歯科学	有川 量崇
9月8日	日					
9月9日	月	平常試験㉑ (60分)		西村 均		
9月10日	火	自学自習				
9月11日	水	自学自習				
9月12日	木	自学自習				
9月13日	金	自学自習				
9月14日	土	自学自習				
9月15日	日					
9月16日	月					
9月17日	火	平常試験㉒ (100分)		平山 聡司		
9月18日	水	自学自習				
9月19日	木	自学自習				
9月20日	金	自学自習				
9月21日	土	自学自習				
9月22日	日					
9月23日	月					
9月24日	火	再評価試験 (60分)		平山 聡司		
9月25日	水	自学自習				
9月26日	木	自学自習				
9月27日	金	自学自習				
9月28日	土	自学自習				
9月29日	日					
9月30日		歯科医学総合 講義5ガイダンス		平山 聡司		

講義日 時限 ユニット番号
4月3日 1時限目 F-1

担当者名 内田貴之

一般目標 GIO: 患者が抱える健康に関する問題を解決するために、POSに基づく問題指向型診療録(POMR)の記載方法を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 当院における診療システムについて述べることができる。
- 2) POMRの意義について説明できる。
- 3) POMRの構成を説明できる。
- 4) POMRの記載方法を説明できる。
- 5) 問題解決過程のステップを説明できる。

キーワード

POS POMR 問題リスト

コアカリキュラム

F-1-1) ①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。F-1-1) ⑦患者の訴えの中から主訴を的確に捉えることができる。F-1-1) ⑧的確な病歴聴取(現病歴、既往歴、家族歴、薬歴等)を行い、必要な部分を抽出できる。F-1-1) ⑨問診、視診、触診および打診等によって患者の現症を的確に捉えることができる。F-1-1) ⑬診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月4日 1時限目 F-1

担当者名 續橋治

一般目標 GIO: 全身疾患を有する患者の歯科治療を安全に行なうために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床検査の意義を述べられる。
- 2) 全身疾患の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。
- 3) 各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。

キーワード

臨床検査 検査基準値 検査項目 全身疾患

コアカリキュラム

F-1-1) ⑩基本的診察を行った後、次に必要となる検査を想定できる。F-1-1) ⑮各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月5日 1時限目 F-1-2)

担当者名 小椋一朗

一般目標 GIO: 歯・顎顔面領域の画像検査を適切に行うために、エックス線検査を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 口内法エックス線検査を説明できる。
- 2) パノラマエックス線検査を説明できる。
- 3) エックス線像の正常解剖を説明できる。

キーワード

口内法エックス線検査 パノラマエックス線検査 エックス線像の正常解剖
コアカリキュラム

F-1-2) ⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月6日 1時限目 F-1

担当者名 森俊幸

一般目標 GIO: 保存修復処置に用いる材料や器材を適切に取り扱えるようになるために、材料や器材の名称、使用方法、特徴について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 各種修復材料の名称、使用方法および特徴について説明できる。
- 2) 各種修復材料の使用上の注意点について理解する。
- 3) 切削器材の名称、使用方法および特徴について説明できる。
- 5) 切削器材の使用上の注意点について理解する。
- 6) 修復処置前準備についての器具、使用方法および特徴を理解する。
- 7) 修復処置前準備注意点について理解する。

キーワード

修復材料 切削器材 修復前準備
コアカリキュラム

E-1④接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。E-2⑤切削・研磨用材料と使用機器の特徴を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月8日 1時限目 F-3-3) -(2)

担当者名 岡部達

一般目標 GIO: 根管治療の技術を習得するために、根管治療の術式および使用する器具・薬剤について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 根管治療の術式について説明できる。
- 2) 根管治療に必要な器具について説明できる。
- 3) 根管治療に必要な薬剤について説明できる。

キーワード

根管治療 術式 器具・薬剤
コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号
4月9日 1時限目 F-3-3) -(2)

担当者名 牧村英樹

一般目標 GIO: 自家歯牙移植術と意図的再植法の流れと使用する器材について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 自家歯牙移植術の目的、流れを説明できる。
- 2) 意図的再植法の目的、流れを説明できる。
- 3) 自家歯牙移植術に必要な器材の用法と手技を説明出来る。
- 4) 意図的再植法に必要な器材の用法と手技を説明出来る。

キーワード

外科的歯内療法 自家歯牙移植術 意図的再植法
コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号
4月10日 1時限目 F-3-3) -(3)

担当者名 中山洋平

一般目標 GIO: 患者実習を行うために必要な歯周治療を実施するための知識を習得し、総合的に歯周治療の流れを理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯周治療の流れを説明できる。
- 2) 歯周基本治療の項目を説明できる。
- 3) 歯周組織検査の項目を説明できる。
- 4) 歯周基本治療で用いる器具を説明できる。
- 5) 歯周外科治療で用いる器具を説明できる。
- 6) SPTについて理解する。

キーワード

歯周組織検査 歯周基本治療 歯周外科治療 SPTとメンテナンス

コアカリキュラム

F-3-3) -(3)①歯周疾患の症状を説明できる。F-3-3) -(3)②歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。F-3-3) -(3)③歯周治療の術式と適応症を説明できる。F-3-3) -(3)④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月11日 1時限目 F-1

担当者名 石井智浩

一般目標 GIO: 有床義歯治療時に必要な器材の準備と治療介補ができるようになるために、治療の流れと使用する器材について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 有床義歯製作時の治療ステップを説明できる。
- 2) 有床義歯製作のための印象採得時に必要な器材について説明できる。
- 3) 有床義歯製作のための咬合採得時に必要な器材について説明できる。
- 4) 義歯調整時に必要な器材について説明できる。

キーワード

治療ステップ 印象採得 咬合採得 義歯調整

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。F-3-4) -(3)⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。

講義日 時限 ユニット番号
4月12日 1時限目 F-3-4) -(1)

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 歯冠補綴治療時に必要な器材の準備と診療介助ができるようになるために、臨床実習で行う歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 根管形成に使用する器材を説明できる。
- 2) 支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。
- 3) 歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。
- 4) 支台歯形成に必要な器材を説明できる。
- 5) プロビジョナルレストレーション製作に必要な器材を説明できる。
- 6) 最終印象・咬合採得に使用する器材を説明できる。
- 7) 歯冠補綴装置の試適・調整に使用する器材を説明できる。
- 8) 歯冠補綴装置の装着後の術後管理を説明できる。

キーワード

根管形成 支台築造 歯肉圧排 プロビジョナルレストレーション 最終印象
コアカリキュラム

F-3-4) -(1)①歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。F-3-4) -(1)⑦窩洞形成と支台歯形成の意義と方法を説明できる。F-3-4) -(1)⑧仮封ならびに暫間装置の意義、種類および特徴を説明できる。F-3-4) -(1)⑨研究模型と作業模型の製作方法を説明できる。F-3-4) -(1)⑫歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。F-3-4) -(2)①橋義歯の意義と具備条件を説明できる。F-3-4) -(2)⑤リテーナーの意義を説明できる。

=====
講義日 時限 ユニット番号
4月13日 1時限目 F-4

担当者名 小見山道, 浅野隆

一般目標 GIO: スポーツ歯科診療、睡眠時無呼吸症候群患者に対する治療、および顎関節症と顎顔面領域の神経疾患に対する診査、診断、治療を適切に行うために、スポーツ健康歯科、いびき外来、顎関節・咬合科、口・顔・頭の痛み外来、神経歯科外来における治療の流れを理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) スポーツ健康歯科におけるスポーツ歯科診療の流れを説明できる。
- 2) いびき外来における睡眠時無呼吸症候群患者に対する治療の流れを説明できる。
- 3) 顎関節・咬合科における顎関節症患者に対する治療の流れを説明できる。
- 4) 口・顔・頭の痛み外来と神経歯科外来における顎顔面領域の神経疾患に対する治療の流れを説明できる。

キーワード

スポーツ歯科 睡眠時無呼吸症候群 顎関節症 不随意運動
コアカリキュラム

F-2-4) -(4)②顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。F-2-4) -(8)①咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月15日 1時限目 F-1-3) -(4)

担当者名 石橋肇

一般目標 GIO: 全身麻酔の導入から覚醒までの手順を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 前投薬の目的を述べることができる。
- 2) 全身麻酔の導入薬について述べるができる。
- 3) 全身麻酔の維持に使用する薬剤の特徴を述べるができる。
- 4) 全身麻酔の覚醒について述べるができる。
- 5) 抜管の基準を述べるができる。

キーワード

導入 静脈麻酔薬 吸入麻酔薬 全身麻酔 覚醒
コアカリキュラム

F-1-3) -(4)①全身麻酔の目的を説明できる。F-1-3) -(4)②全身麻酔の適応と禁忌を説明できる。F-1-3) -(4)③全身麻酔法の種類と特徴を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月16日 1時限目 F-1

担当者名 井下田繁子

一般目標 GIO: 臨床実習の必要な口腔インプラント治療の診断からメンテナンス・リコールまでの知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 欠損補綴の治療法について説明できる。
- 2) 口腔インプラント治療の流れを説明できる。
- 3) インプラントの基本構造について説明できる。
- 4) インプラント治療に必要な解剖学、材料学、組織学について説明できる。
- 5) 口腔インプラントに必要な検査項目を説明できる。
- 6) 治療計画を立案し、説明とインフォームドコンセントについて説明できる。
- 7) 口腔インプラントに必要な外科手術について説明できる。
- 8) 口腔インプラントに必要な補綴術式について説明できる。
- 9) 口腔インプラントのメンテナンスとリコールについて説明できる。

キーワード

口腔インプラント治療の流れ 診査項目と検査法 インプラントの外科手術と補綴術式 治療計画 メンテナンス・リコール
コアカリキュラム

D-2-3) -(2)③骨の改造現象と全身および局所因子による調節機構を概説できる。〈「組織」より移動〉F-1-4) ②小手術の偶発症と合併症を説明できる。F-1-4) ⑤縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月17日 1時限目 F-1-4)

担当者名 原正浩

一般目標 GIO: 口腔外科外来手術時に必要な器材の準備と治療介助ができるようになるために、外来手術の流れと使用する器材・薬剤について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 手指と術野の消毒について説明できる。
- 2) 抜歯に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。
- 3) 粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。
- 4) 縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。

キーワード

手指の消毒薬剤 手術野の消毒薬剤 外来手術の基本器材
コアカリキュラム

F-1-4) ③抜歯に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。F-1-4) ④粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。F-1-4) ⑤縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。F-1-4) ⑥手指と術野の消毒について説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月18日 1時限目 F-4-1)

担当者名 斎藤勝彦

一般目標 GIO: セファロ分析に基づく矯正治療の流れと使用する器材について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) セファロ撮影の方法について説明できる。
- 2) セファロ分析の計測点・基準平面について説明できる。
- 3) 精密検査の項目について説明できる。
- 4) 矯正治療に使用する器材について説明できる。

キーワード

セファロ分析 精密検査 器材
コアカリキュラム

F-4-1) ①矯正治療の目的と意義を説明できる。F-4-1) ④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。F-4-1) ⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月19日 1時限目 F-4-2)

担当者名 清水邦彦

一般目標 GIO: 小児への対応を適切に行うために、小児歯科の特色と使用する特殊器具について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 年齢ごとの小児への対応を説明できる。
- 2) 小児歯科の特殊器具について説明できる。

キーワード

小児の発育 小児への対応 特殊器具

コアカリキュラム

F-4-2) ①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月20日 1時限目 C-2-2), F-4-4)

担当者名 伊藤政之

一般目標 GIO: スペシャルニーズのある人の歯科診療を行う際に知っておきたい関係法律や環境等の知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 障害者基本法における障害者を説明できる。
- 2) 障害者の地域生活を説明できる。

キーワード

ノーマライゼーション 障害者福祉 障害者基本法 バリアフリーコンフリクト

コアカリキュラム

C-2-2) ④社会福祉制度を説明できる。C-2-2) ⑥障害者のおかれた社会環境を説明できる。C-2-2) ⑦ノーマライゼーションの考え方を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月23日 1時限目 F-4-2)

担当者名 清水武彦

一般目標 GIO: 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の歯・歯列の発育と特徴について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 乳歯と永久歯の形態と特徴を説明できる。
- 2) 歯の形態異常を説明できる。
- 3) 歯の発育時期について説明できる。
- 4) Hellman 歯齢を列記できる。
- 5) 乳歯列および混合歯列の特徴を説明できる。

キーワード

歯の形態 歯の発育時期 Hellman 歯齢 乳歯列 混合歯列

コアカリキュラム

F-3-1) ①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。F-3-1) ②歯種別の形態と特徴を説明できる。F-4-2) ⑦咬合誘導の概念を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月24日 1時限目 F-4-2)

担当者名 清水邦彦

一般目標 GIO: 乳歯および混合歯列期に生じた歯の欠損と歯列不正に対応するため、保隙と咬合誘導を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 保隙の必要性を説明できる。
- 2) 保隙装置とその適応について説明できる。
- 3) 保隙装置の管理を説明できる。
- 4) 咬合誘導の概念を説明できる。
- 5) 咬合誘導装置を説明できる。
- 6) 歯列不正の原因について説明できる。

キーワード

小児歯科 乳歯列期 混合歯列期 保隙 咬合誘導

コアカリキュラム

F-4-2) ⑦咬合誘導の概念を説明できる。F-4-2) ⑧保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月25日 1時限目 F-4-2)

担当者名 清水邦彦

一般目標 GIO: 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の心身発達について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 小児の身体の発達について説明できる。
- 2) 小児の情動の発達について説明できる。
- 3) 小児の運動機能の発達について説明できる。

キーワード

身体の発達 情動の発達 運動機能の発達

コアカリキュラム

F-4-2) ①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
4月30日 1時限目 F-4-2)

担当者名 岡本京

一般目標 GIO: 歯の外傷を主訴として来院する小児患者に対処することができるようになるために、小児の歯の外傷の特徴、診査、診断および対応方法を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 小児の歯の外傷の特徴を説明できる。
- 2) 小児の歯の外傷の原因を説明できる。
- 3) 外傷歯への影響を説明できる。
- 4) 乳歯外傷による後継永久歯への影響を説明できる。
- 5) 乳歯および幼若永久歯の歯冠破折の検査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 6) 乳歯および幼若永久歯の歯根破折の検査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 7) 乳歯および幼若永久歯の脱臼の検査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 8) 抜去の適応について説明できる。

キーワード

小児の歯の外傷への対応 歯冠破折 歯根破折 歯の脱臼 後継永久歯への影響

コアカリキュラム

F-4-2) ⑥小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月1日 1時限目 F-4, D-2-4) , F-2-3)

担当者名 五関たけみ

一般目標 GIO: 口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、頭蓋・顎顔面の成長パターンおよび成長発育の評価法を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 成長発育の評価について説明できる。
- 2) 骨年齢とその評価について説明できる。
- 3) 成長スパートの予測について説明できる。
- 4) 脳頭蓋の成長を説明できる。
- 5) 顎顔面の成長を説明できる。

キーワード

成長発育 頭蓋骨 骨年齢

コアカリキュラム

D-2-4) ①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。F-2-3)

⑤口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月7日 1時限目 F-4, D-2-4) , F-2-3)

担当者名 五関たけみ

一般目標 GIO: 口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、脳頭蓋と顎顔面の成長パターンおよび成長発育に影響を及ぼす因子について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 鼻上顎複合体の成長発育の特徴を述べることができる。
- 2) 下顎骨の成長発育の特徴を述べることができる。
- 3) 成長発育に影響を及ぼす因子について説明できる。

キーワード

成長発育 顔面頭蓋 鼻上顎複合体 下顎骨

コアカリキュラム

D-2-4) ①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。F-2-3)

⑤口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月8日 1時限目 F-4-1), F-2-3)

担当者名 五関たけみ

一般目標 GIO: 上顎前突を主訴に来院した患者からの相談に適切に対応するために必要な基本的知識について修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 上顎前突を特徴とする先天異常を列挙できる。
- 2) 上顎前突の発現要因を説明できる。
- 3) 上顎前突の形態的特徴を列挙できる。
- 4) 上顎前突の機能的特徴を列挙できる。
- 5) 上顎前突の早期治療について説明できる。
- 6) 上顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。

キーワード

不正咬合 上顎前突 不正咬合の原因 早期治療 先天異常

コアカリキュラム

F-2-3) ③口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。F-2-3) ④口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。F-4-1) ③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。F-4-1) ④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月9日 1時限目 F-4-1), F-2-3)

担当者名 五関たけみ

一般目標 GIO: 下顎前突を主訴に来院した患者からの相談に適切に対応するために必要な基本的知識について修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 下顎前突を特徴とする先天異常を列挙できる。
- 2) 下顎前突の発現要因を説明できる。
- 3) 機能性反対咬合の特徴を述べることができる。
- 4) 歯性反対咬合の特徴を述べることができる。
- 5) 骨格性下顎前突の特徴を述べることができる。
- 6) 反対咬合の早期治療について説明できる。
- 7) 反対咬合の治療に用いる矯正装置とその使用目的について説明できる。

キーワード

不正咬合 骨格性下顎前突 機能性反対咬合 先天異常 早期治療

コアカリキュラム

F-2-3) ③口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。F-2-3) ④口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。F-4-1) ③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。F-4-1) ④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月10日 1時限目 F-4-2)

担当者名 清水武彦, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

小児歯科学

コアカリキュラム

F-4-2) ⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。F-4-2) ⑥小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月11日 1時限目 F-4-2)

担当者名 清水武彦, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

小児歯科学

コアカリキュラム

F-4-2) ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。F-4-2) ④乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎の診察、検査と診断を説明できる。F-4-2) ⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月13日 1時限目 A-3

担当者名 有川量崇

一般目標 GIO: 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得できる。

到達目標 SBOs:

- 1) 患者の権利を説明できる。
- 2) 医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
- 3) 歯科医師の法的義務を列挙できる。
- 4) 保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。
- 5) 歯科医師法を概説できる。
- 6) 歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。

キーワード

歯科医師の法的義務 歯科医師法 歯科衛生士法 歯科技工士法

コアカリキュラム

A-1①患者の権利を説明できる。A-2①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
A-3⑤歯科医師の法的義務を列挙できる。B-2-3) ②保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。C-2-1) ①歯科医師法を概説できる。C-2-1) ③歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月14日 1時限目 F-4-4)

担当者名 水野貴誠, 野本たかと

一般目標 GIO: 歯科診療の対象としてのスペシャルニーズがある人の存在を知り、その臨床でスペシャルニーズがある人を患者として受け入れることができる歯科医師としての知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 行動調整法について説明できる。
- 2) オリエンテーションの意義を説明できる。
- 3) Four Handed Dentistry を説明できる。

キーワード

スペシャルニーズのある人 障害者歯科治療 行動調整法

コアカリキュラム

F-4-4) ①障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月15日 1時限目 F-4-2), F-4-4)

担当者名 林佐智代

一般目標 GIO: 摂食嚥下障害に対応するために、摂食嚥下機能の正常発達における基礎知識を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 哺乳期の発達について説明できる。
- 2) 離乳期の発達について説明できる。
- 3) 自食機能の発達について説明できる。
- 4) 摂食嚥下機能について説明できる。

キーワード

哺乳 離乳 摂食嚥下機能 発達 自食
コアカリキュラム

F-2-1) ⑧嚥下の機序を説明できる。F-4-2) ①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。F-2-2) ⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月16日 1時限目 F-4-2)

担当者名 清水武彦

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

小児歯科学
コアカリキュラム

F-4-2) ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。
F-4-2) ④乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎の診察、検査と診断を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月17日 1時限目 F-4-1)

担当者名 五関たけみ, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

歯科矯正学

コアカリキュラム

F-4-1) ⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。F-4-1) ⑥矯正装置の種類と用途を説明できる。F-4-1) ⑦矯正治療に必要な力学を説明できる。F-4-1) ⑧矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月18日 1時限目 F-4-1)

担当者名 五関たけみ, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

歯科矯正学

コアカリキュラム

F-4-1) ④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。F-4-1) ⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。F-4-1) ⑥矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。F-4-1) ⑦矯正装置の種類と用途を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月21日 1時限目 F-3-4) -(3)

担当者名 河相安彦

一般目標 GIO: 総義歯治療を円滑に行うために患者のプロブレムリストを作成し、適切な診査を行う知識・態度および技能を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 総義歯治療の製作過程を順を追って説明できる。
- 2) 無歯顎患者のプロブレムリストを作成できる。
- 3) 総義歯における維持に関わるプロブレムの診査項目を挙げることができる。
- 4) 総義歯における支持に関わるプロブレムの診査項目を挙げることができる。
- 5) 総義歯における安定に関わるプロブレムの診査項目を挙げることができる。
- 6) プロブレムに対する適切な診断ができる。
- 7) 適切な治療計画が立案できる。

キーワード

総義歯 プロブレムリスト 診査 治療計画
コアカリキュラム

F-3-4) -(3)①可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。F-3-4) -(3)④可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。F-3-4) -(3)⑤可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。F-3-4) -(3)⑦可撤性義歯の構成要素を説明できる。F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。

講義日 時限 ユニット番号
5月22日 1時限目 F-4-3)

担当者名 河相安彦

一般目標 GIO: 高齢者の治療を円滑に行うために、高齢者の全身状態および精神状態についての知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 有病高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。
- 2) 高齢者における有床補綴治療の意義を説明できる。
- 3) 医科との連携について述べるができる。
- 4) 高齢者の生活環境と口腔の関連について述べるができる。

キーワード

老年歯科 全身疾患 多職種医療連携 社会環境
コアカリキュラム

F-1-1) ⑬診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。C-2-2) ⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。F-1-3) -(1)⑦小児、妊婦および高齢者への薬物適用上の注意を説明できる。F-4-3) ③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。B-2-3) ②保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。B-2-3) ①医療チームのメンバーの役割と連携を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月23日 1時限目 F-3-4) -(3)

担当者名 飯島守雄

一般目標 GIO: 損なわれた顎口腔系の形態および機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療方法に関する知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 可撤性局部床義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。
- 2) 可撤性局部床義歯の製作過程を説明できる。

キーワード

可撤性局部床義歯 義歯の目的 歯列の形態変化 部分床義歯の適応症
コアカリキュラム

F-3-4) -(2) ⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。F-3-4) -(3) ①可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。F-3-4) -(3) ④可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。F-3-4) -(3) ⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。

講義日 時限 ユニット番号
5月24日 1時限目 F-4-1)

担当者名 五関たけみ, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

歯科矯正学
コアカリキュラム

F-4-1) ⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。F-4-1) ⑥矯正装置の種類と用途を説明できる。F-4-1) ⑦矯正治療に必要な力学を説明できる。F-4-1) ⑧矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月25日 1時限目 C-4-1)

担当者名 有川量崇, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

公衆予防歯科学

コアカリキュラム

C-4-1) ③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。C-4-2) ③調査方法と統計的分析法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月27日 1時限目 C-1

担当者名 田口千恵子

一般目標 GIO: 健康の概念と健康増進、疾病予防、健康管理について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 健康の概念について説明できる。
- 2) プライマリーヘルスケアについて説明できる。
- 3) ヘルスプロモーションについて説明できる。
- 4) 健康日本21について概説できる。
- 5) メタボリックシンドロームについて説明できる。
- 6) 地域保健
- 7) 母子保健
- 8) 学校保健

キーワード

アルマ・アタ宣言 オタワ憲章 健康日本21 8020運動 歯科口腔保健の推進に関する法律

コアカリキュラム

C-1①健康の概念を説明できる。C-3-1) ①第一次、第二次および第三次予防を説明できる。C-3-1) ②プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。C-3-1) ③プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。C-3-2) ④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月28日 1時限目 F-3-4) -(3)

担当者名 木本統

一般目標 GIO: 総義歯装着後のトラブルを理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 装着後に生じる 痛みの原因について説明できる。
- 2) 装着後に生じる 維持不良の原因について説明できる。
- 3) 装着後に生じる 発音不良の原因について説明できる。
- 4) 装着後に生じる 審美不良の原因について説明できる。

キーワード

全部床義歯 新義歯装着 トラブル

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。

講義日 時限 ユニット番号
5月29日 1時限目 F-3-4)

担当者名 村上洋

一般目標 GIO: 口腔インプラント治療のための診察と検査について説明できる。

到達目標 SBOs:

- 1) インプラント治療のための全身のおよび局所的な診察と検査について説明できる。
- 2) インプラント治療のための模型上およびエックス線検査について説明できる。
- 3) インプラント治療のリスクファクターについて説明できる。

キーワード

コアカリキュラム

F-3-4) -(2)⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。

講義日 時限 ユニット番号
5月30日 1時限目 F-3-4) -(3)

担当者名 大久保昌和

一般目標 GIO: 局部床義歯装着後に起こる様々な問題を解決するために、それらの原因と対応について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 局部床義歯装着後に起こる問題について説明できる。
- 2) 局部床義歯装着後に起こる問題の原因について説明できる。
- 3) 局部床義歯装着後に起こる問題への対応について説明できる。

キーワード

歯の欠損 局部床義歯 装着後の管理

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑬可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。F-3-4) -(3)⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。

講義日 時限 ユニット番号
5月31日 1時限目 F-3-4) -(3)

担当者名 木本統, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

全部床義歯

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。

講義日 時限 ユニット番号
6月1日 1時限目 F-3-4) -(3)

担当者名 木本統, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

全部床義歯補綴学

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。F-3-4) -(3)⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。F-3-4) -(3)⑬可撤性義歯の調整、ライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。F-3-4) -(3)⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月4日 1時限目 F-4-3)

担当者名 野本たかと

一般目標 GIO: 摂食・嚥下リハビリテーションを理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 嚥下のメカニズムを述べられる。
- 2) 摂食・嚥下障害について述べられる。
- 3) 疾患と嚥下障害との関連を述べられる。

キーワード

摂食 嚥下 嚥下障害 リハビリテーション 誤嚥性肺炎

コアカリキュラム

F-2-1) ⑧嚥下の機序を説明できる。F-4-3) ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月5日 1時限目 F-3-4)

担当者名 小見山道

一般目標 GIO: 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために、補綴学の顎機能に関する知識・技能および態度を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ、説明できる。
- 2) 下顎運動の基準となる基準点、基準面を分類し、説明できる。
- 3) 下顎位の名称を挙げ説明できる。
- 4) 下顎の限界運動について説明できる。

キーワード

顎機能 下顎位 顎運動

コアカリキュラム

F-3-4) -(2)⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。F-3-4) -(3)⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。F-3-4) -(3)⑨下顎運動の記録法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月6日 1時限目 F-3-4)

担当者名 小見山道

一般目標 GIO: 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために、補綴学の顎機能に関する知識・技能および態度を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ、説明できる。
- 2) 下顎運動の基準となる基準点、基準面を分類し、説明できる。
- 3) 下顎位の名称を挙げ説明できる。
- 4) 下顎の限界運動について説明できる。

キーワード

顎機能 下顎運動 下顎位

コアカリキュラム

F-3-4) -(2)⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。F-3-4) -(3)⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。F-3-4) -(3)⑨下顎運動の記録法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月7日 1時限目 F-3-4) -(3)

担当者名 石井智浩, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

局部床義歯補綴学

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。F-3-4) -(3)⑪可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。F-3-4) -(3)⑫可撤性義歯の調整、ライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。F-3-4) -(3)⑬可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月8日 1時限目 F-3-4) -(3)

担当者名 石井智浩, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

局部床義歯補綴学

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。F-3-4) -(3)⑪可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。F-3-4) -(3)⑫可撤性義歯の調整、ライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。F-3-4) -(3)⑬可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月11日 1時限目 F-3

担当者名 平山聡司

一般目標 GIO: 適切な硬組織欠損の修復処置が行えるようになるために、歯のエナメル質、象牙質・歯髄複合体およびセメント質の正常構造と機能を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) エナメル質の構造を説明できる。
- 2) 象牙質・歯髄複合体の構造を説明できる。
- 3) セメント質の構造を説明できる。
- 4) 歯の形態的特徴について説明できる。
- 5) 歯式の表記法について説明できる。

キーワード

歯の正常機能 エナメル質 象牙質・歯髄複合体 セメント質 歯式
コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号
6月12日 1時限目 F-3-3)-(1)

担当者名 鈴木英明

一般目標 GIO: 齶蝕ならびに硬組織疾患を理解するために、唾液、口腔の常在微生物叢ならびにバイオフィームについて学習する。

到達目標 SBOs:

- 1) 口腔の常在微生物叢について説明できる。
- 2) バイオフィームについて説明できる。

キーワード

齶 蝕 口腔の常在微生物叢 バイオフィーム
コアカリキュラム

F-3-2) ⑤口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月13日 1時限目 F-3-3) -(1)

担当者名 鈴木英明

一般目標 GIO: 齲蝕ならびに硬組織疾患を理解するために、病因・病態、主要症候ならびにそれらの検査法について学習する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯の硬組織疾患の病因・病態を説明できる。
- 2) 歯の硬組織疾患の主要症候を説明できる。
- 3) 歯の硬組織疾患の検査法を説明できる。

キーワード

歯の硬組織疾患 主要症候 検査法

コアカリキュラム

F-3-2) ①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。F-3-3) -(1)①う蝕の症状と診断を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月14日 1時限目 F-3-4) -(1)

担当者名 田中孝明, 村上洋, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

歯冠加工義歯補綴学

コアカリキュラム

F-3-4) -(1)⑫歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。F-3-4) -(2)⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。

講義日 時限 ユニット番号
6月15日 1時限目 F-3-4)

担当者名 田中孝明, 村上洋, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

補綴

コアカリキュラム

F-3-4) -(1)⑩歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。F-3-4) -(2)⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。

講義日 時限 ユニット番号
6月17日 1時限目 C-3-2)

担当者名 田口千恵子

一般目標 GIO: 口腔疾患の予防におけるフッ化物応用について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) フッ化物による全身的応用法について説明できる。
- 2) フッ化物による局所応用法について説明できる。
- 3) フッ化物応用による安全性について説明できる。
- 4) フッ化物の代謝について説明できる。

キーワード

水道水フロリデーション フッ化物洗口 フッ化物歯面塗布

コアカリキュラム

C-3-2) ②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月18日 1時限目 F-3-3) -(2)

担当者名 和田守康

一般目標 GIO: 歯の移植、再植について説明できる。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯の移植と再植の科学が理解できる。
- 2) 歯の移植と再植の術式が説明できる。
- 3) 歯の移植と再植について臨床的な問題点が提起できる。

キーワード

移植 再植 外科的歯内療法

コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号
6月19日 1時限目 F-3-3) -(1)

担当者名 岡田珠美

一般目標 GIO: 保存修復学の基本の一つである成形修復中の特にコンポジットレジンおよびグラスアイオノマーセメント修復に用いる器具・器材、材料の成分・特徴、手順および不快事項について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 成形修復の窩洞の特徴について説明できる。
- 2) 成形修復で使用する器具・器材について説明できる。
- 3) 成形修復材料の特徴について説明できる。
- 4) 成形修復材料の成分とその意義について説明できる。
- 5) 成形修復の手順について説明できる。
- 6) 成形修復の仕上げ研磨について説明できる。
- 7) 成形修復の不快事項について説明できる。

キーワード

成形修復 コンポジットレジン グラスアイオノマーセメント

コアカリキュラム

F-3-3) -(1)②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月20日 1時限目 F-3-4) -(1)

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 適切な補綴治療を行うために歯冠補綴治療に用いられる診療用器具と、補綴修復材料の特徴について学ぶ。

到達目標 SBOs:

- 1) 各種切削器具の特徴を説明できる。
- 2) 各種印象材の特徴について説明できる。
- 3) 歯科用鑄造金属の種類を説明できる。
- 4) 熱処理について説明できる。
- 5) 歯科用オールセラミックの種類を説明できる。
- 6) ジルコニアの特徴および応用方法を説明できる。
- 7) CAD/CAM について説明できる。

キーワード

切削器具 印象材 熱処理 鑄造金属 オールセラミック
コアカリキュラム

F-3-4) -(1)①歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。F-3-4) -(1)②修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。F-3-4) -(1)⑦窩洞形成と支台歯形成の意義と方法を説明できる。F-3-4) -(2)④橋義歯における支台歯形成の方法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月21日 1時限目 F-3-3) -(1)

担当者名 岩井啓寿, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

保存修復学
コアカリキュラム

F-3-3) -(1)①う蝕の症状と診断を説明できる。F-3-3) -(1)②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月22日 1時限目 F-3-3) -(1)

担当者名 岩井啓寿, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

保存

コアカリキュラム

F-3-3) -(1)②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。F-3-3) -(2)①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月24日 1時限目 C-3-2)

担当者名 田口千恵子

一般目標 GIO: 口腔疾患の予防と管理における口腔清掃と保健指導について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 栄養と食生活について説明できる。
- 2) 禁煙指導について概説できる。
- 3) 生活習慣病について説明できる。
- 4) 機械的清掃法、化学的清掃法について説明できる。
- 5) プラークの形成機序・付着抑制について説明できる。
- 6) 口腔清掃の指標について説明できる。
- 7) 口腔清掃方法について説明できる。

キーワード

生活習慣病 禁煙指導 口腔バイオフィルム プラーク形成機序 口腔清掃法

コアカリキュラム

C-3-2) ③ライフステージにおける予防を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月25日 1時限目 E-1

担当者名 曾田雅啓

一般目標 GIO: 歯冠修復物は支台歯と一体化することで審美性や機能を回復・維持することができる。そのための材料と術式を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯科用セメントの種類と性質を述べるができる。
- 2) 歯科用セメントの使用法を説明できる。
- 3) 接着性レジンセメントと歯質または修復材料との接着理論と技法を説明できる。

キーワード

歯科用セメント 接着性レジンセメント 歯冠修復材料
コアカリキュラム

E-1④接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月26日 1時限目 F-3-3), F-3-3) -(4), F-3-3) -(1), F-3-4)

担当者名 神谷直孝

一般目標 GIO: 冷水やブラッシングによる誘発痛や、硬組織疾患による歯質の滅失を原因とする食片圧入を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、齶蝕、象牙質知覚過敏、ならびにTooth Wearの臨床症状と診断および処置方針について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 象牙質知覚過敏症の症状、原因、処置方針について説明できる。
- 2) 象牙質知覚過敏のメカニズムについて説明できる。
- 3) Tooth Wearの症状、原因、処置方針について説明できる。
- 4) 食片圧入の症状、原因、処置方針について説明できる。

キーワード

冷水痛 象牙質知覚過敏 Tooth Wear 食片圧入
コアカリキュラム

F-3-3) -(1)①う蝕の症状と診断を説明できる。F-3-3) -(4)①象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。F-3-4) -(1)①歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。F-3-4) -(1)②歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。F-3-4) -(1)②修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月27日 1時限目 F-3-4) -(1)

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 歯冠補綴処置における形態や色調の不調和を改善するために、審美障害の原因とその治療法を学ぶ。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯冠補綴装置のマージン不適合による審美障害を説明できる。
- 2) 歯冠補綴装置の前装材料の劣化による審美障害を説明できる。
- 3) メラニン色素の沈着による歯肉の変色を理解し対処方法を説明できる。
- 4) 矯正的な補綴前処置の方法を説明できる。
- 5) ブラックトライアングルの原因と対処方法について説明できる。
- 6) ラミネートベニアの適応症と術式を説明できる。

キーワード

審美障害 補綴前処置 メラニン色素沈着 ラミネートベニア
コアカリキュラム

F-3-4) -(1)①歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。F-3-4) -(1)⑩修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。F-3-4) -(2)③支台装置とポンティックの選択、特徴および製作法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
6月29日 1時限目 F-3-3) -(2)

担当者名 川島正, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

歯内療法学
コアカリキュラム

F-3-3) -(2)①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。F-3-3) -(2)④歯髄・根尖歯周組織疾患の治療時における偶発症について、種類、処置および予防を説明できる。F-3-3) -(2)⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月1日 1時限目 C-3-2)

担当者名 田口千恵子

一般目標 GIO: 健康増進のために歯・口腔の清潔、特に口臭について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 口臭の分類を説明できる。
- 2) 口臭の原因を説明できる。
- 3) 口臭の測定について説明できる。
- 4) 口臭の予防について説明できる。
- 5) 器質的口腔ケアについて説明できる。
- 6) 機能的口腔ケアについて説明できる。
- 7) 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。

キーワード

口臭 器質的口腔ケア 機能的口腔ケア 指標
コアカリキュラム

C-3-2) ①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。C-4-1) ③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月2日 1時限目 F-3-3), F-3-3) -(1), F-3-4)

担当者名 神谷直孝

一般目標 GIO: 歯の審美障害を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、変色歯・形態不全歯や歯冠破折の診断、処置方針について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯の審美障害を引き起こす疾患について説明できる。
- 2) 歯の変色の原因、診断、処置方針について説明できる。
- 3) 歯の形態不全の原因、診断、処置方針について説明できる。
- 4) 歯冠破折の処置方針について説明できる。
- 5) コンポジットレジン修復後に審美障害を引き起こす原因と処置方針について説明できる。

キーワード

審美障害 変色歯 形態不全 歯冠破折 修復予後
コアカリキュラム

F-3-3) -(2)⑥歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。F-3-3) -(1)①う蝕の症状と診断を説明できる。F-3-4) -(1)①歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。F-3-4) -(1)②修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。F-3-4) -(1)⑫歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。

講義日 時限 ユニット番号
7月3日 1時限目 F-3-4) -(1)

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 「冠や支台の脱離」という主訴を解決するために、脱離の原因について理解し歯の保存の診査診断および対処方法について学ぶ。

到達目標 SBOs:

- 1) フェルールエフェクトについて説明できる。
- 2) クラウンレングスニングについて説明できる。
- 3) 支台築造の方法を説明できる。
- 4) 直接支台築造の適応症を説明できる。
- 5) 間接支台築造の適応症を説明できる。

キーワード

脱離 フェルールエフェクト クラウンレングスニング 支台築造 歯冠歯根比
コアカリキュラム

F-3-4) -(1) ⑫歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。F-3-4) -(2) ⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。F-3-4) -(2) ⑬橋義歯の装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月4日 1時限目 F-3-4) -(1)

担当者名 後藤治彦

一般目標 GIO: 「冠や支台装置の脱離」という主訴を解決するため、脱離の原因について理解し歯の保存の診査診断および対処法について学ぶ。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯根破折の原因を説明できる。
- 2) 歯の保存の条件について説明できる。
- 3) ブリッジの設計について説明できる。
- 4) 支台歯の負担能力について説明できる。

キーワード

歯根破折 歯の保存 ブリッジの設計
コアカリキュラム

F-3-4) -(1) ②修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。F-3-4) -(2) ⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。

講義日 時限 ユニット番号
7月5日 1時限目 F-3-3)

担当者名 目澤優, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

歯周病

コアカリキュラム

F-3-3) -(3)③歯周治療の術式と適応症を説明できる。F-3-3) -(3)④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。F-3-3) -(3)⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月6日 1時限目 F-3-3)

担当者名 目澤優, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

歯周病

コアカリキュラム

F-3-3) -(3)③歯周治療の術式と適応症を説明できる。F-3-3) -(3)④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。F-3-3) -(3)⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月9日 1時限目 F-2-4)

担当者名 西村均, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

口腔外科

コアカリキュラム

F-2-3) ⑥舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。F-2-4) -(1)①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。F-2-4) -(1)②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。F-2-4) -(1)③外傷時の検査法を列挙できる。F-2-4) -(1)④歯の外傷の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。F-2-4) -(1)⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折および下顎骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。F-2-4) -(1)⑥骨折の治療原則を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月10日 1時限目 F-2-4)

担当者名 西村均, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

口腔外科

コアカリキュラム

F-2-4) -(2)①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる F-2-4) -(2)②菌性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。F-2-4) -(2)③急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。F-2-4) -(2)④炎症の診断に必要な検査法を説明できる。F-2-4) -(2)⑤口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。F-2-4) -(2)⑥菌血症および菌性病巣感染の病態を説明できる。F-2-4) -(2)⑦一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。F-2-4) -(2)⑧主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。F-2-4) -(2)⑨水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月11日 1時限目 F-2-4)

担当者名 伊藤耕, 西村均, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

口腔外科学

コアカリキュラム

F-2-4) -(3)①嚢胞の一般的な症状、検査法および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)②良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。F-2-4) -(3)③前癌病変の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)④顎骨に発生する歯原性嚢胞を概説できる。F-2-4) -(3)⑤顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑥軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑦歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑧非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑨腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑩腫瘍に対する一般的な治療法を概説できる。F-2-4) -(3)⑪口腔・顎顔面領域の嚢胞の診断と治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑫エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑬エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑭白板症の特徴、症状および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑮口腔癌の特徴、症状および治療法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月11日 1時限目 F-2-4)

担当者名 伊藤耕, 西村均, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

口腔外科学

コアカリキュラム

F-2-4) -(3)①嚢胞の一般的な症状、検査法および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)②良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。F-2-4) -(3)③前癌病変の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)④顎骨に発生する歯原性嚢胞を概説できる。F-2-4) -(3)⑤顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑥軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑦歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑧非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑨腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑩腫瘍に対する一般的な治療法を概説できる。F-2-4) -(3)⑪口腔・顎顔面領域の嚢胞の診断と治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑫エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑬エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑭白板症の特徴、症状および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑮口腔癌の特徴、症状および治療法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月13日 1時限目 F-2-1)

担当者名 市村真奈, 西村均, 小見山道

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

臨床検査

コアカリキュラム

F-1-1) ①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。F-1-1) ②歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。F-1-1) ⑤各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。F-1-3) - (1) ⑤歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月16日 1時限目 D-4-4), F-3-1)

担当者名 宇都宮忠彦

一般目標 GIO: 歯髄、歯周組織及び顎骨の炎症性疾患を正しく診断・治療するために、炎症の病理学的知識及び正常構造について学習する。

到達目標 SBOs:

- 1) 炎症の原因と徴候について説明できる。
- 2) 炎症を病理組織学的に分類できる。
- 3) 歯髄組織の特徴について述べることができる。
- 4) 歯周組織の特徴について説明できる。
- 5) 顎骨の組織学的特徴について説明できる。

キーワード

炎症 炎症の原因と徴候 炎症の病理組織学的分類 歯髄・歯周組織・顎骨の正常構造

コアカリキュラム

D-4-4) ①炎症の定義を説明できる。D-4-4) ②炎症細胞の種類と働きを説明できる。D-4-4) ③炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。D-4-4) ④炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。F-3-1) ④歯髄の構造と機能を説明できる。F-3-1) ⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月17日 1時限目 D-4-4), F-3-3) -(2)

担当者名 辻本恭久

一般目標 GIO: 誘発痛や自発痛を主訴とする患者に対し、歯髄炎・根尖性歯周炎の診断および処置方針の決定ができるようになるために、臨床症状をもとに歯髄炎・根尖性歯周炎の特徴を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯髄炎・根尖性歯周炎の原因を説明できる。
- 2) 歯髄炎・根尖性歯周炎の進行の特徴を説明できる。
- 3) 可逆性歯髄炎, 不可逆性歯髄炎の特徴を説明できる。

キーワード

歯髄炎 根尖性歯周炎
コアカリキュラム

F-3-2) ③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。F-2-4) -(2)③急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。F-2-4) -(2)④炎症の診断に必要な検査法を説明できる。F-3-3) -(2)①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。F-3-3) -(2)③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月18日 1時限目 F-3-3)

担当者名 大橋顕二郎

一般目標 GIO: 歯周疾患を正確に診断・治療するために、歯周組織の構造、歯周疾患の診査法および治療法について学習する。

到達目標 SBOs:

- 1) 正常歯周組織を理解する。
- 2) 歯周病の原因と、進行機序を理解する。
- 3) 歯周病の診査法を理解する。
- 4) 歯周基本治療の内容を理解する。

キーワード

歯周病 正常歯周組織 歯周基本治療
コアカリキュラム

F-3-3) -(3)①歯周疾患の症状を説明できる。F-3-3) -(3)②歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。F-3-3) -(3)③歯周治療の術式と適応症を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月19日 1時限目 F-2-4) -(2)

担当者名 原正浩

一般目標 GIO: 骨髄炎の患者に対応できるようになるために、顎骨に生じる骨髄炎の分類・診断について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 骨髄炎の分類を説明できる。
- 2) 骨髄炎の診断を説明できる。

キーワード

顎骨 炎症 骨髄炎

コアカリキュラム

F-2-4) -(2)⑧主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。

講義日 時限 ユニット番号
7月20日 1時限目 F-1-3) ,F-1-3) -(2),F-1-3) -(3)

担当者名 下坂典立

一般目標 GIO: より良き歯科医師になるために、臨床科目に関する基礎学力を向上させ、臨床実地問題を解決できるための知識、技能、態度を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床実地問題の問題文に対する着眼点を説明できる。
- 2) 臨床実地問題の視覚素材に対する着眼点を説明できる。
- 3) 臨床実地問題の正答を導くためのプロセスを説明できる。

キーワード

歯科麻酔 Vital Signs 局所麻酔法 精神鎮静法

コアカリキュラム

F-1-3) -(1)①バイタルサインを列挙し、説明できる。F-1-3) -(1)②血圧を測定できる。F-1-3) -(1)③脈拍の状態を把握できる。F-1-3) -(2)①精神鎮静法の目的を説明できる。F-1-3) -(3)①局所麻酔の目的を説明できる。F-1-3) -(3)②局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。F-1-3) -(3)③局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。F-1-3) -(3)④血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。F-1-3) -(3)⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。F-1-3) -(3)⑥局所麻酔時の合併症を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
8月19日 1時限目 C-2-1)

担当者名 有川量崇

一般目標 GIO: 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標 SBOs:

- 1) 医療法を概説できる。
- 2) 保健・医療制度を説明できる。

キーワード

医療法 保健・医療制度

コアカリキュラム

C-2-1) ②医療法を概説できる。C-2-2) ①保健・医療制度を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
8月20日 1時限目 F-3-3) -(3)

担当者名 大橋頭二郎

一般目標 GIO: 歯周病の治療法を理解するために、歯周外科手術及び治療後の治癒機転・予後について学習する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯周外科治療について理解する。
- 2) メインテナンスとSPTについて理解する。

キーワード

歯周病 歯周外科治療 メインテナンス SPT

コアカリキュラム

F-3-3) -(3)④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。F-3-3) -(3)⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
8月21日 1時限目 F-3-3) -(2), D-4-4)

担当者名 辻本恭久

一般目標 GIO: 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に治療できるようになるために、症状、診断、治療法およびその治癒機転・予後について学習する。

到達目標 SBOs:

- 1) 急性歯髄炎・慢性歯髄炎における治療法を説明できる。
- 2) 急性根尖性歯周炎, 慢性根尖性歯周炎の治療法を説明できる。

キーワード

急性化膿性歯髄炎 急性化膿性根尖性歯周炎

コアカリキュラム

F-3-3) -(2)①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。F-3-3) -(2)③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。F-3-3) -(2)⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
8月22日 1時限目 F-2-4) -(2)

担当者名 原正浩

一般目標 GIO: 骨髄炎の患者に対応できるようになるために、顎骨に生じる骨髄炎の病期・症状と治療の基礎について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 骨髄炎の病期を説明できる。
- 2) 骨髄炎の症状を説明できる。
- 3) 骨髄炎の治療法を説明できる。

キーワード

顎骨 炎症 骨髄炎

コアカリキュラム

F-2-4) -(2)⑧主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。

講義日 時限 ユニット番号
8月23日 1時限目 F-2-4)-(1)

担当者名 原正浩

一般目標 GIO: 骨折の患者に対応できるようになるために、顎顔面領域に生じる骨折の種類、原因、症状、検査法、診断、治療法について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 骨折の分類を説明できる。
- 2) 骨折の症状を説明できる。
- 3) 骨折の検査法を説明できる。
- 4) 骨折の治療法を説明できる。

キーワード

外傷 歯槽骨骨折 上顎骨骨折 下顎骨骨折

コアカリキュラム

F-2-4)-(1)①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。F-2-4)-(1)②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。F-2-4)-(1)⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折および下顎骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。F-2-4)-(1)⑥骨折の治療原則を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
8月27日 1時限目 F-2-4)-(3)

担当者名 宇都宮忠彦

一般目標 GIO: 顎口腔領域に発生する嚢胞の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 嚢胞を分類できる。
- 2) 顎骨に発生する嚢胞を列挙し、その病理組織学的特徴について説明できる。
- 3) 軟組織に発生する嚢胞を列挙し、その病理組織学的特徴について説明できる。

キーワード

嚢胞の分類 顎骨に発生する嚢胞 軟組織に発生する嚢胞 病理組織学

コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号
8月28日 1時限目 F-2-4) -(3)

担当者名 西村均

一般目標 GIO: 顎口腔領域に発生する嚢胞の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 顎骨に発生する歯原性嚢胞を説明できる。
- 2) 顎骨歯原性嚢胞の種類を列挙できる。
- 3) 顎骨歯原性嚢胞の診断ができる。
- 4) 顎骨嚢胞の治療法を説明できる。

キーワード

嚢胞 顎骨 顎骨嚢胞 歯原性嚢胞 嚢胞治療

コアカリキュラム

F-2-4) -(3)①嚢胞の一般的な症状、検査法および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)④顎骨に発生する歯原性嚢胞を概説できる。F-2-4) -(3)⑫口腔・顎顔面領域の嚢胞の診断と治療法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
8月29日 1時限目 F-2-4) -(3)

担当者名 西村均

一般目標 GIO: 顎口腔領域に発生する嚢胞の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 顎骨嚢胞の種類を列挙できる。
- 2) 顎骨に発生する非歯原性嚢胞を説明できる。
- 3) 顎骨の非歯原性嚢胞の診断ができる。
- 4) 顎骨嚢胞の治療法を説明できる。

キーワード

嚢胞 顎骨 歯原性 非歯原性 非歯原性嚢胞

コアカリキュラム

F-2-4) -(3)①嚢胞の一般的な症状、検査法および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑤顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑫口腔・顎顔面領域の嚢胞の診断と治療法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
8月30日 1時限目 F-2-4) -(3)

担当者名 西村均

一般目標 GIO: 顎口腔領域に発生する嚢胞の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 軟組織に発生する嚢胞を列挙できる。
- 2) 軟組織嚢胞を診断できる。
- 3) 軟組織嚢胞の治療法を説明できる。

キーワード

軟組織 嚢胞 嚢胞治療 唾液腺

コアカリキュラム

F-2-4) -(3) ①嚢胞の一般的な症状、検査法および治療法を説明できる。F-2-4) -(3) ⑥軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。

講義日 時限 ユニット番号
9月2日 1時限目 C-2-2)

担当者名 有川量崇

一般目標 GIO: 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標 SBOs:

- 1) 保健・医療制度を説明できる。
- 2) 介護保険制度を説明できる。
- 3) 社会福祉制度を説明できる。

キーワード

保健・医療制度 介護保険制度 社会福祉制度

コアカリキュラム

C-2-2) ①保健・医療制度を説明できる。C-2-2) ③介護保険制度を説明できる。C-2-2) ④社会福祉制度を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
9月3日 1時限目 D-4-5) , F-2-4) -(3), F-2-4) -(5)

担当者名 久山佳代

一般目標 GIO: 顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。
- 2) 上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍を列挙できる。
- 3) 歯源性腫瘍を分類できる。
- 4) 非歯源性腫瘍を分類できる。
- 5) 唾液腺腫瘍を分類できる。

キーワード

腫瘍 上皮性腫瘍 非上皮性腫瘍 歯源性腫瘍 唾液腺腫瘍

コアカリキュラム

D-4-5) ①腫瘍の定義を説明できる。D-4-5) ②腫瘍の組織発生を説明できる。F-2-4) -(3) ②良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。F-2-4) -(3) ⑦歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3) ⑧非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(5) ②唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
9月4日 1時限目 F-2-4) -(3)

担当者名 伊藤耕

一般目標 GIO: 顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯源性腫瘍の分類ができる。
- 2) 歯源性腫瘍について説明できる。
- 3) 歯源性腫瘍の診断ができる。
- 4) 歯源性腫瘍の治療法を説明できる。
- 5) エナメル上皮腫について説明できる。

キーワード

腫瘍 歯源性 歯源性腫瘍 エナメル上皮腫 顎骨

コアカリキュラム

F-2-4) -(3) ⑦歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3) ⑩腫瘍に対する一般的な治療法を概説できる。F-2-4) -(3) ⑬エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
9月5日 1時限目 F-2-4) -(3)

担当者名 伊藤耕

一般目標 GIO: 顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 非歯源性腫瘍の分類ができる。
- 2) 非歯源性腫瘍について説明できる。
- 3) 非歯源性腫瘍の診断ができる。
- 4) 非歯源性腫瘍の治療法を説明できる。

キーワード

歯源性 非歯源性 腫瘍 顎骨 軟組織

コアカリキュラム

F-2-4) -(3)②良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。F-2-4) -(3)③前癌病変の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑧非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。F-2-4) -(3)⑩腫瘍に対する一般的な治療法を概説できる。

講義日 時限 ユニット番号
9月6日 1時限目 F-2-4) -(3)

担当者名 伊藤耕

一般目標 GIO: 顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 顎骨腫瘍の治療法が説明できる。
- 2) エナメル上皮腫の治療法が説明できる。
- 3) 軟組織腫瘍の治療法が説明できる。
- 4) エプーリスの治療法が説明できる。
- 5) 悪性腫瘍の治療法が説明できる。

キーワード

腫瘍 治療法 手術 悪性腫瘍 良性腫瘍

コアカリキュラム

F-2-4) -(3)②良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。F-2-4) -(3)⑩腫瘍に対する一般的な治療法を概説できる。F-2-4) -(3)⑭エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑯口腔癌の特徴、症状および治療法を説明できる。F-2-4) -(3)⑰白板症の特徴、症状および治療法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号
9月7日 1時限目 C-2-2)

担当者名 有川量崇

一般目標 GIO: 歯科医師として必要な法・制度を学び, 医療人として社会における役割と責任について理解し, 修得することができる。

到達目標 SBOs:

- 1) 保健・医療制度を説明できる。
- 2) 医療保険制度を説明できる。

キーワード

保健・医療制度 医療保険制度

コアカリキュラム

C-2-2) ①保健・医療制度を説明できる。C-2-2) ②医療保険制度を説明できる。